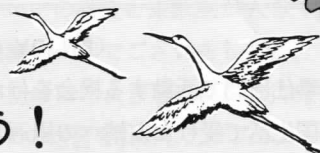




ENJOY ROTARY!



ロータリーを楽しもう!

会長 高橋良士 幹事 佐々木喆彦 クラブ奉仕 佐藤 衛 職業奉仕 忠鉢 徹 社会奉仕 斎藤 昭 国際奉仕 塚原初男 青少年奉仕 加藤 賢

出席報告:会員 90 名 出席 69 名 出席率 76.92 % 前回出席率 74.36 % 修正出席数 72 名 確定出席率 83.33 %

会長報告

高橋良士君

会長報告及び退任挨拶

本日、最終例会を迎えるに当たりまして本年度最後の会長報告と会長退任の御挨拶を申し上げます。

ヒュー・M・アーチャーRI会長は本年度のテーマを“Enjoy Rotary”「ロータリーを楽しもう」と発表いたしました。要するにこのテーマは「ロータリーをよく理解し」「ロータリー活動を楽しみながら実践しよう」というのがRI会長の意とするところでございました。この一年間、RI会長の意とする“Enjoy Rotary”を充分考慮に入れロータリーの原点をよくみつけ「親睦と奉



仕」の調和に努力した次第であります。

本年度活動報告の詳細につきましては報告書にゆずり割愛いたしますが、この一年をかえりみまして主な活動と決定事項を要約し報告いたします。

1. RI規定審議会決議事項について

昨年4月シンガポールのRI規定審議会におきまして女性会員の入会が決議、承認されましてロータリー史上、大きなエポックとなりましたが、当クラブにおきましては、理事会、クラブ協議会で討議、検討を重ね、最終的に理事会の決議により女性会員入会を承認しました。

年2回の休日につきましてはお盆とゴールデンウィーク中の例会の2回を休会といたしました。

2. 地区分割に関して

本年度地区大会において当地区はアジア第1・第3ゾーンにおける最多クラブ地区であり1991年度より、福島・山形が、それぞれ1県1地区として発展的分割をすることと決議いたしました。ま

ENJOY LIFE

クラブ生活

高橋良士

3年前、ロータリーに「No」という言葉はない、会長は順番であると言う先輩会員の教を忠実に守り会長を引き受けてしまった。年上の女房は“金の草鞋をはいてもさがせ”とのたとえの様に、日頃から敬愛する鶴岡南校で2年先輩の佐々木喆彦氏に女房役である幹事を引き受けていただいたことは本当に幸運であった。

医者や坊主のコンビでは共に生死に関わる極めて緊急度の高い職業であり、いかなる事態で

会の運営に支障を来すことにはなるまいかと懸念はしていたものの、この一年間、まさに天の助けとも言ふべきか、どうやら無事責務を全うしえた。

18年前、東京での大学医局生活に終わりを上げ郷里鶴岡へ帰り庄内地区では初めての小児外科の診療を開始したが、同時期に鶴岡クラブ創設者である小花盛雄先生の推薦で当クラブへ入会させていただいた。

18年間のクラブ生活をかえりみると、ドイツ留学の経験があったからであろうか、主として2Pにつづく

エンジョイライフ

(ENJOY LIFE つづき)

国際奉仕部門で活動する機会を与えられた。

外国生活で受けた友情への恩返しという意識もあって、アメリカからのダイアン、オーストラリアからのジョンとジムの3人の交換学生のホストファミリーも引き受けた。

クリスマスカードを交換し彼等の近況を知ることにはこの上もなく楽しい。本年5月には立川クラブがホストとなってオーストラリアから余目高校へ交換学生として留学中のデブラが急性虫垂炎となり手術をすることとなった。国際電話でデブラの両親に症状を告げ、ドクターの腕を信じるという両親の同意を得て手術を行った。異国での異国人による手術は16才の少女デブラにとってどんなにか心細かったに違いない。手術前には泣き出してなだめるのに一苦労したが、先日温海ロータリー20周年記念式典であったときには、もう23キロのハイキングに挑戦し、「ダイジョーブ」と笑顔で話してくれた。

た本年度中、村上ガバナー、吉田P Gのご逝去は誠に痛恨の極みであり、ここに謹んで御冥福をお祈りいたします。

3. クラブの主な活動について

(1) クラブ奉仕部門

① クラブフォーラムの開催

本年度のテーマ“Enjoy Rotary”ロータリーを楽しむためにはまずロータリーを理解することであるとの観点より昨年に引き続き新会員を主体に五大奉仕部門のフォーラムを関連委員会の協力により開催いたしました。全会員のロータリーに対する理解を深める意味で裨益するところ誠に大であったと思われまます。

② クラブ資料委員会の新設

クラブ活動の資料は奉仕活動の汗の結晶であり、クラブの何者にもかえがたい財産であります。然るに現在までクラブ資料の保存に関してはかなり不備の点があり以前より憂慮しておりましたが、

本年度より当委員会を新設しまして、委員会の御努力により、クラブ資料保存の基準を設置していただき将来のクラブ管理運営の充実を期した次第であります。

(2) 職業奉仕部門

本年度のガバナー公式訪問は、かねてより例会場の申出のありました第一ホテルで行いまして公式訪問、クラブ協議会終了後、恒例の職場訪問を同ホテルで行い、特にホテルの機能面について見学いたしました。次年度より第一ホテルへ例会場変更と決定致しましたが、この職場訪問はおそらく会員皆様方のコンセンサスを得る trigger になったのではなかろうかと推測しております。

(3) 社会奉仕部門

鶴岡市の都市計画モデル都市計画への協力としまして、鶴岡公園前の「やすらぎの広場」へ「ソメイヨシノ」を植樹いたしました。今回の計画に際しましては市の計画管理課と何度も折衝にあたられました社会奉仕委員会の御努力に対し深く感謝申し上げます。

(4) 国際奉仕部門

交換学生受入としましては、オーストラリア、サリーナハイスクールより羽黒高校へアーレン・マッキーを、羽黒高校から斎藤さゆりをサリーナハイスクールへ派遣し、いずれも立派に国際親善使節として役目を果たし無事帰国いたしました。

特にアーレンのホストファミリーをお引き受けいただきました塚原、藤川御両家の皆様方には心より御礼と感謝を申し上げます。

ロータリー財団奨学生では泉川由起が昨年合格しウイスコンシン大学マジソン校のスペシャル・スチューデントとして入学準備中であります。本年度は神戸外語大卒の斎藤葉子がクラブの面接を終え、来る7月15日の地区選考試験にのぞむ予定であります。

姉妹クラブ台中港区ロータリークラブとの統盟式が2月26日に台中市で行われまして、無事第六期統盟式を終え帰国いたしました。

(5) 青少年奉仕部門

数年来休会状態のローターアクトクラブが昨年度のローターアクト委員会と本年度ローターアクト委員会連携の努力が遂に実を結び、21名の若さ溢れるメンバーによって再開されたことは誠に喜ばしい限りであります。今後の奉仕活動を暖かく支援していきたいと存じます。

4. 全員参加のプログラム

253地区第11回ライラ研修会が5月11日より3日間、新緑の羽黒国民休暇村で当クラブがホストとなり開催されました。

研修テーマは新緑の爽やかな羽黒の景観にふさわしい、また若人のロマンを誘う「ふれあい・ひと・みどり」でございました。

この3日間のプログラムは青春の思い出となるような多彩なしかも格調の高い企画であり出席した青少年に深い感動を与えました。

ライラ準備委員会の皆様方にも長期間にわたり心血をそそぎ準備にあたられその御努力に対し衷心より感謝を申し上げます。

本年度行事におきましては2、3年来懸案となっておりました例会場変更問題が再度理事会に提案されました。

この件に関しましては数回にわたり理事会において協議を重ね、更にクラブの諮問機関であるクラブ協議会においても討議を行いました。最終的には臨時理事会におきましてアンケート集計について慎重に検討を加えた結果、今後会員増強により会場がますます狭小となる事は明らかであり、第一ホテルであればflexibleに対応できること、更に鶴岡クラブの将来の展望を踏まえて第一ホテル鶴岡へ例会場変更との合意を得た次第であります。

ここに多年にわたり例会場のお世話をいただいたエルサンの皆様方のご好意に対し厚く御礼申し上げます。

このロータリー年度をかえりみますと国内では現在やや沈静化しつつありますが、リクルート、消費税問題で明け暮れ、国外では天安門事件について東西ベルリンを隔てていた「ベルリンの壁」

の崩壊、ルーマニアの政変と東欧圏が大きく揺れ動いた実に印象深い一年でございました。

私は本年度の初めに「よきものにふれ自分を知る」というゲーテの格言を引用しクラブのターゲットといたしました。これを「ロータリー、ロータリアンというすばらし出会いによって自己を研鑽する」とし、皆様方と共に奉仕活動を歩んで参りました。

この一年間、ロータリアンとしての友情と寛容をもって御協力いただいた会員の皆様方、共にクラブの運営管理に当たられた理事会の皆様方、献身的努力でクラブを支える陰の力となった佐々木幹事、繁雑な事務処理を一手に引き受けた事務局斎藤とも子嬢に対し衷心より感謝の意を捧げまして会長退任の御挨拶といたします。

幹事報告

佐々木 喆彦 君

◎ 来信・通知

- ① 6/20 地区I.A.C.連絡協議会
6/29~30 福島市
点鐘 15:00 登録料 ¥13,000
九里学園米沢女子高校
- ② 6/20 第1回会長・幹事会
7/7~8 福島市
地区R.A.C.代表ノミニ玉川靖彦
登録料 ¥5,000
- ③ 6/20 半期報告書 7/1現在で RI
- ④ 6/20 河川一斉清掃への参加お願い
7/1(日) AM6:00~8:00
べにばな国体鶴岡市民運動推進協議会
- ⑤ 6/21 江戸川RC お礼状とバナー
- ⑥ 6/22 屋外体育施設における環境保全美化啓発用旗の寄贈のお願い
市教育委員会
- ⑦ 6/25 会報送付に対してお礼状
田中善六PG
- ⑧ 6/29 ローターアクトクラブ打上げビアガーデン

第一ホテル鶴岡 午後7:00

登録料 ¥2,500

○会報到着

山形RC 山形西RC

◎幹事退任の挨拶



先程会長から幹事就任について佐々木喆彦から快諾を得たと言うお話がございました。決して快諾ではございませんが、坊主というのはどこの幹事でも心がけていないといけません。月給をもら

っている訳ではありませんので、いつお金が入るかわからんという商売をしております。唯一の頼みが最近では医者でございます。医者の方でさっさと始末を付けてくれないと私の方は仕事が出来ないということになります。こういう理由で私が依頼されたと考えました。これから5年10年たって医者に掛からなければならなくなったときに、今ひとつ恩を売っておけば、多少は良いこともあるかとお引き受けしましたので、そのへんは誤解のないようお願いしたいと思います。

この1年間大変お世話になりました。

火曜日は例会のために幹事報告やプログラムの打合わせで本当に1週間が短く感じました。ところで、先週の例会から今日までの1週間は非常に長い1週間でした。これが幹事として最後の感想でございます。幹事の心労は例会ばかりではございませんで、会長から胃の検診を勧められました。その結果胃に穴があきそうだと言うことでした。もっか薬を飲んでおります。従って今日はお酒を一滴も飲めません。わきに主治医がおりますのでなおさらです。ただタバコはなかなか止められず困っています。最大の仕事でございました、会場の変更が終わったせいで胃の調子が悪くなったのかなと思います。

最後になりましたが、先月新しく家内を作りました。ちょうど年齢が20年違います。家内は昭和25年の生まれでございます。この件につきましては来月の第1例会にいささかのスマイルをさせていただきますきたいと思います。

1年間1度も休まずに来られたのは、皆様の友情のお陰だと感謝申し上げます、お礼の言葉といたします。

感謝のことば

直前会長 市川輝雄君



コースに横たわるあなたのハードルを楽々と飛び越してVサインも高々とゴールインしてくる高橋、佐々木コンビをみると余裕綽々あまりにあっけなさ過ぎてもう一年やって行けるのではないかと

誰もが思いたくなります。しかし一見気楽そうに見せ、さり気なく最後のクラブ協議会を務めるお二人の心中を前任者である私はよく理解するものであります。

枠にはめられた予算のやり繰りを理事会でいや応なく決断を迫られる時の苦悩を。はたまた無責任な中傷への忍耐を……。

それらを会員諸兄には気どられる事なく悠然とした態度で例会に臨まれる高橋、佐々木コンビに私は敬服するのであります。

顔で笑って心で泣くのは何時の代も会長幹事の宿命なのでしょうか。

「命有限 夢無限」と言う言葉があります。突発的な緊急時に即応しなければならぬ外科医という立場の会長は己には厳格に他人には寛大に常に公平と思いやりの精神を貫いてきました。同じく住職という職業の幹事はクラブきっての文筆家としての自信があればこそ、その粘りと迫力をもってクラブ運営に厚みをもたらしてくれました。

どちらも人の生命の尊厳にかかわる仕事を持ち

ながらの一年間本当に御苦勞様でした。

ロータリーという理想の世界は無限の拡がりを見せて、今や全世界にまで浸透しています。この奉仕の理想の具現に会員の皆様もよく協力し鶴岡クラブの名を上げてくれました。

特に青少年関係委員会の努力は目を見はるものがありました。永年の懸案であったローターアクトの再結成。羽黒山でのライラ研修会の成功など、卓越した業績は長くクラブ史に記録されるべきでしょう。

命有限 夢無限

エンジョイロータリーという大命題をかざして理想の世界を追及した高橋年度が今終わろうとしています。会員一同を代表してここに厚く感謝申し上げると共に重かった点鐘の槌を佐藤昇エレクトに手渡して、今晚からは心おきなくごゆっくりとお休み下さい。

お疲れ様でした。

ごあいさつ

エルサン社長 早坂 剛 氏



本日は貴重なお時間をお借りして一言お礼申し上げます。昭和51年3月18日の第1回目の例会をお引き受けして以来、14年になりました。ロータリーの皆様から心温まるご支援を頂きまして、

何とか大過なく努めさせて頂きましたことにお礼申し上げます。いろいろと不備な点多々あったと思いますが、ここで改めてお詫び申し上げ、今後益々会員の皆様方のご発展とご健勝をお祈りしてお礼の言葉にかえさせていただきます。

◎退会の挨拶

玉城 俊一 君

当クラブに昭和50年の8月に入会させて頂きました。私が鶴岡に来ましたのが昭和47年の10



月でございます。まことに長い年月でございます。当時鶴岡の駅に降りて、大変な所に来たというのが正直なところです。タイムカプセルに入って昭和12年ごろにもどったのかという印象でした。

それから時が経ち現在のような住みやすい鶴岡になって参りました。この18年間の前半は、高度成長に乗り遅れ、オイルショックにたたかれるということで、銀行の屋上に登って町を見ても、一つも活気がないという感じでしたが、後半になりますと、工業団地が満配になるし、来年は飛行機も飛ぶし、万々歳です。

15年間当クラブにお世話になりました。この前に札幌と日本橋東RCを経験して参りましたが、このロータリークラブは非常に心温まるクラブじゃないかと思っております。本当は退会したくないのですが、金井会長もお止めになった時にゆずられた訳です。私も今度荘内銀行の会長をリタイア致します。今、笹原頭取が若いロータリアンをつくろうと人選しております。非常に長い間ご交誼を頂きましたが、私、鶴岡とこれで縁を切る訳ではございませんので、引き続き荘内銀行の顧問として役員会には出させて頂くということで、まだゴルフ場の社長もしておりますし、また皆様方からいろいろとお世話になると思いますので、これからもよろしくお願い申し上げます。長い間ありがとうございました。

◎退会の挨拶

風間 眞一 君



今回、年度替りを機に当ロータリークラブを退会させて頂くことになりました。

先ずもって、8年半の間の会員皆様方のご交誼、

ご厚情に対し厚くお礼申し上げます。本当に有難うございました。

昭和57年1月荘内銀行常務として入会させて頂きました私は、昭和61年6月同行常務を退任しましたおりに、本来ならば退会すべきでありましたが、私の本拠であります金屋興業からその時会員が出ていなかったこともあり、佐藤順治会長のお勧めもあって、席を金屋興業会長として今日に至りました。

そもそも、当クラブの会員としての荘内銀行と金屋興業は妙な因縁がありまして、クラブ創立後間もなく荘内銀行では金井勝助頭取が、金屋興業では佐藤伊和治社長が入会されておりましたが、荘内銀行では早坂ガバナー誕生のおり、その会計を荘内銀行が担当する条件としてもう1名の入会を要請されたとして、昭和46年度に風間慶三専務が入会して2名となりました。昭和50年度には玉城俊一頭取か金井会長に替って入会されました。昭和53年末に風間専務が銀行を退任、金屋興業の副社長に就任の際に、金屋興業の佐藤社長が退会して風間副社長がクラブのメンバーとして残りました。

その後暫くは荘内銀行からは玉城頭取1名の会員でありましたが、今度は石黒ガバナー就任に際して、前と同様、銀行に1名増員を要請され、私がガバナー年度に先立って昭和57年1月入会し、再び2名となりました。そして昭和61年6月に私が銀行の常務を退きましたおりに、金屋興業では風間副社長が既に昭和58年4月に亡くなり、会員が出ておりませんでしたので、前述のような次第となりました。

現在金屋興業では上野精一社長が就任して久しく、私としては交替の時期を窺っておりましたが、今回、会場が遠くなることを機会に、私は車の運転が出来ませんので、会員の交替をさせて頂くことに致しました。

今後入会させていただきます上野に対しまして私以上のご高配をお願い申し上げますと共に、退会後の私に対しましても末長くご厚情の程お願い申し上げます。長い間誠に有難うございました。

委員会報告

社会奉仕委員会

委員長 石井敬三君

内川清掃奉仕作業のご協力お願い

下記の通り内川清掃奉仕作業が行われますので、会員の皆様のご協力をお願い致します。

1. 日 時 平成2年7月1日(日)
午前6時～8時
2. 集合場所 消防本部 裏側
3. 清掃区間 鶴園橋から三雪橋

スマイル

- 高橋良士君 一年間どうもありがとうございました。
- 佐々木 喆彦君 幹事として大変お世話になりました。
- 鈴木茂男君 私も一年間ありがとうございました。
- 秋野 忠君 29日、金曜日午後7時からローターアクトの打上げパーティーがございまして多数ご参加頂いてローターアクトに花を添えて頂ければ大変有難いと思います。よろしくお願ひします。
- 佐藤 忠君 去る22日に運輸省で運輸大臣から表彰を頂きました。ビジネスホテル協会の常務理事を12年間、また東北支部長をしたことに対してだと思ひます。これも皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。
- 阿部 与十郎君 長崎で国観連、北海道で日本温泉協会、東京でそれぞれ総会があり大変いそがしく皆様にごぶさたいたしましたので
- 塚原初男君 福岡で開かれました佐藤敬二先生の米寿の会に出席させていただきまして
- 小池繁治君 末の娘がよき伴侶を得ましたので

ビジター

なし

7月3日のプログラム予定

1990年度 第1回例会